



6月16日に大使公邸で元国費留学生の集いを開催しました。新型コロナウイルスのため、大使館は久しく大人数の行事を実施出来ていませんでした。このところ、フィンランドでも感染が減り、対策をとった上でこの集いを行うことが出来ました。

およそ30人の元留学生が集まりました。年代は20代から70代まで幅広く、例えば私の隣席の建築家の方は、約20年前に東京で住んでいて、猫好き大家さんのフィンランド人向けアパート「ネコタロ(neko talo)」を懐かしんでいました。また、京都大学で理論物理学を学びこれから東京で就職する、という意気盛んな若者もいました。ヘルシンキ市内だけではなくヴァーサ市から来て下さった方もいました。皆さん日本への思いを持ち続けてくれており、とても心強く感じました。そして多くの参加者は日本語がとても堪能で、驚きました。

最後に挨拶に立った代表の方から、桜は日本の花でぴったりだが、すずらんはひっそりと美しく咲く花ではあるもフィンランド人にとっては必ずしも国の花としてピンと来ない、といった趣旨の指摘がありました。確かにすずらんには桜ほどにイメージは強くないのかも知れませんが、でも可憐でとても素敵な花で、清楚な印象のフィンランドにふさわしく思われます。私は代表の方に「それでは次回からは柴犬とトナカイの集い」にしましょうか」と応えはしましたが、やはりそれよりは「さくらとすずらん」の方が良さそうです。

2022年6月
駐フィンランド大使 藤村和広